

# 令和2年度事業報告

## 1. 事業概要

令和2年度のわが国の経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により極めて厳しい状況にあり、国は感染拡大防止対策、ポストコロナに向けた経済構造の転換、好循環の実現等を目指し、感染拡大防止を最優先に取り組み支援策を講じてきておりますが、経済の回復は道半ばであります。

このような状況の中、令和2年度のセンターの取り組みとして、出来る限りの感染防止対策に努めるとともに、2回の緊急事態宣言に伴う事業の減少を最小限に抑えるため、センター全体で危機意識をもって対応してきました。具体的には、公共委託の減少に伴い8月に市に対し「事務費を6%から8%への見直し」について、粘り強く要望してきた結果、令和3年度より事務費の見直しが実現することとなりました。また、請負・委任契約から派遣契約への切り替えについて、発注者にご理解とご協力をお願いした結果、派遣契約の実績が伸び、それに伴う手数料収入が増え、事業全体の減少幅縮小に努めてきました。

令和2年度の事業実績は、年度末正会員数は1,289名で前年度に対し78名の減、受託件数は4,919件で802件の減、請負・委任契約金額は、643,043,603円で99,383,873円の減、また、派遣事業契約金額は97,046,626円で前年比19,072,247円の増となりました。

令和2年度の事業実績は、コロナ禍であり厳しい結果となりましたが、高齢者の社会参加の促進を目指し、シルバー人材センターが一丸となり地域社会の活性化に繋げられるよう取り組んでまいりました。

## 2. 事業実施状況

### (1) 数値目標の達成について

- ①【会員数】 入会者数は大幅に少なく、退会者は減少し、結果的に期末では1,289名となり、目標値1,400名に対して111名未達となりました。
- ②【契約金額】 目標値800,000,000円に対して、請負・委任と派遣を合わせた合計額740,090,229円となり、目標には59,909,771円届かない結果となりました。
- ③【未就業会員数】 目標値200名以下に対して151名と、目標達成となりました。

## (2) 会員の確保・就業機会の提供について

- ① 新型コロナウイルス感染拡大防止対策によるイベント等の開催中止がありましたが、民間や公共の宣伝媒体を活用し、年間を通じてPR活動を行いました。
- ② 関連機関を通じて公共施設等へチラシ・パンフレット等の常置を依頼し、受注確保や拡充を図りました。
- ③ 市内工業団体事務局を通じて、登録団体 80 社に「会員募集」と「就業開拓」のPR活動を行いました。
- ④ 千葉県の出先機関（江戸川下水道事務所）に、就業開拓活動を行いました。
- ⑤ 入会説明会は、2度の緊急事態宣言に伴う開催中止により、前年度より3回少ない43回実施し、延272名の方が参加されました。これにより、シルバー人材センター事業の目的や趣旨に賛同した延175名の方が新規入会されました。また、男女比率として女性会員は、トータルで342名と前年比34名減、構成率にして26.5%と前年比1.1ポイント減となりました。
- ⑥ 会員からの就業相談は随時受け付け、未就業の会員には会員状況相談書を通じて希望職種や条件の見直しをお願いするなど、就業会員増を目指しました。また、事務局からの通信紙「シニア通信・アクティブ」に就業会員募集情報を載せて、会員の希望に、より近いマッチングになるように工夫しました。
- ⑦ 一定期間未就業の新入会員に対して個別の就業相談日を案内し、未就業の解消に向けて積極的に努力しました。
- ⑧ 派遣事業の受注件数は前年比11件減の52件、就労実人員は前年比13名減の165名ですが、延人員は20,520人日と約31%の成長と堅調な伸びになりました。

## (3) 会員資質の向上、社会参加活動の推進について

- ① 駐輪場管理や公共施設管理に就業している会員対象の接遇研修は、約450名に対して開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、すべて中止となりました。
- ② 千葉県連合会主催の教育訓練講習会は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため「家庭学習」として3回実施され、「働く心構え」や「コミュニケーションの重要性」など知識や質の向上につながる内容で、65名の会員が受講しました。
- ③ シルバー人材センター会員のボランティア団体「くすの木会」の活動として例年参加していた5月の江戸川クリーン作戦ゴミ拾いは、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止されました。

#### (4) 普及啓発活動について

- ① 「いちかわ市民まつり」などの地域や公共団体が主催する祭りや集会などでPR活動を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により中止となりました。
- ② 千葉県シルバー人材センター連合会主催のシルバークフェスティバルで入会希望者への案内を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により中止となりました。
- ③ 関連関係機関を通じて、高齢者の利用率の高い施設の窓口で会員募集チラシを配布していただきました。
- ④ 会員が利用しているスポーツクラブに会員募集チラシやパンフレットを置かせていただき、普及啓発を図りました。
- ⑤ 女性限定の説明会を企画しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により会場の確保が困難となったため、中止にしました。
- ⑥ 車両のボディーに看板を設置し、PR強化を図りました。
- ⑦ センターホームページは適宜更新し、PR効果のアップを図りました。
- ⑧ 月に2回発行している市広報紙に、会員募集記事及び仕事募集広告を掲載し、センターのPRに努めました。
- ⑨ 「シニア通信・アクティブ」を4回発行し、会員との情報共有を図り、併せて会員募集チラシを送付し、会員からの配布による募集活動に繋げました。

#### (5) 安全・適正就業の推進について

- ① 千葉県シルバー人材センター連合会主催の安全適正就業推進員の研修会は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため書面開催となり「転落、落下、転倒防止対策」、「熱中症事故防止対策」、「自転車事故防止対策」、「蜂刺され事故防止対策」についての資料が配布され、事故の未然防止に役立てました。
- ② 「シニア通信・アクティブ」に、傷害事故・物損事故の報告および、熱中症やインフルエンザ予防、健康診査の受診などの啓発記事を掲載し、健康管理について呼びかけました。
- ③ 会員就業先へ巡視を行い、安全面で問題があると確認した作業1件について改善を促しました。その他については安全・適正に就業が守られていることを確認しました。
- ④ 「会員状況相談書・ヒヤリハット報告書」を全会員に送付して、ヒヤリハット情報の収集を行いました。また、就業会員へは内容に変更がなく適正に実施されているかの確認と、併せて未就業会員には希望職種や希望曜日・時間帯などを申告してもらい、適切な就業紹介ができるよう努めました。
- ⑤ 身の回りに潜む傷害・物損事故を防止するため、危険事項とその対策を講じた啓発資料を配布し、注意喚起を行いました。

- ⑥ 事故発生者に事故報告書を提出してもらい、分析した結果の対策案を通知し、同様事故の再発防止に努めました。
- ⑦刈払機を使つての草刈り作業に就業する会員に対して、安全衛生教育の履修に際し支援しました。
- ⑧全国的にも増えている高齢者の交通事故については、啓発のチラシ・リーフレットを、交通安全運動期間中センターへ来訪した方に配布し、また、全会員向けに郵便物や「シニア通信・アクティブ」と併せて送付するなど、交通安全の周知を図りました。
- ⑨新規入会者に、安全就業のための冊子や交通安全のチラシを配布し、センター活動中における安全を啓発しました。
- ⑩「自転車の安全利用」及び「熱中症予防について」の講習会については、例年同様に開催を予定していたものの、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により中止しました。
- ⑪契約内容と会員の就業状況について確認のうえ、就業先と見直し協議を行い、法令を遵守した適正就業を図りました。結果として、センターの請負就業の形態として馴染みにくかった9事業所の16契約、会員48名の就業を派遣就業に切り替え、2事業所の2契約、会員6名の就業を直接雇用の有料職業紹介として対応しました。

#### (6) 事業推進体制の強化について

- ①法人の運営について、法令で求められている手続き等を適正に行いました。
- ②新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、万が一の職員感染による事務局機能停止を防ぐため、執務室を分け、緊急事態宣言中は時差出勤をするなど、継続可能な事務局運営体制を構築しました。
- ③臨時職員全5名のうち、欠員となった2名を新たに採用して、事務局体制の強化を図りました。
- ④理事会は、「臨時理事会」を含めて全6回開催し、事業執行方針や規程・規則の改正など重要な案件を協議・検討し、円滑な事業運営が行えるように努めました。
- ⑤委員会活動は、企画総務・普及啓発・就業開拓・安全の4委員会体制となります。
  - 企画総務委員会は2回開催し、各委員会からの報告をもって事業全般の今後の方向性について意見交換をしました。また、理事会に上程する前の重要案件について内容の確認を行い、理事会の円滑な運営を促しました。
  - 普及啓発委員会は3回開催し、センターの広告や会員の拡大・確保につながるPRについての意見交換などを行いました。

- 就業開拓委員会は3回開催し、会員の就業の確保について意見交換をし、また、未就業会員を対象に就業相談会を3回行い、未就業の改善に繋げることが出来ました。
  - 安全委員会は3回開催し、会員の安全・適正な就業や、就業中の事故をなくすための意見交換を行いました。また、就業状況の安全の確認を行うため、就業現場2ヶ所の巡視を行いました。
- ⑥ 職員については、全国シルバー人材センター事業協会や千葉県シルバー人材センター連合会等の関連団体及び民間団体が主催する、オンラインや書面で開催された各種会議・研修会に参加して知識を習得し、日常業務の円滑な執行に役立てました。